



寄り添い 伸ばす

荒川区立原中学校

学校だより

4月号

令和6年4月11日

荒川区立原中学校

校長 村松 弘一



顧客満足度の高い学校を目指して！

校長 村松 弘一

春光うらかな季節となりました。開花が遅れていた校庭の桜の木も、新入生の歓迎を祝うかのように咲いています。新入生103名が入学し、全校生徒数280名で、原中学校の令和6年度がスタートしました。本校は、平成6年に第六中学校と尾竹橋中学校、2校の歴史と伝統を引き継ぎ誕生し、本年度で開校30周年を迎えます。

この度、水井雅史校長の後任として着任いたしました、村松弘一（むらまつ こういち）と申します。3年前まで、原中学校で副校長をしておりましたので、「初めまして」ではなく、「パワーアップして、帰ってまいりました」と言ったほうがいいかもしれません。開校30周年の記念すべき年に、今度は校長として着任でき、大変光栄に思っております。

水井前校長をはじめ、歴代校長の原中学校に対する熱意と情熱、そしてその実績を引き継ぎ、さらに原中学校を発展させていく所存でございます。よろしくお願いいたします。



目指す学校像

生徒も保護者も、「通ってよかった」、「通わせてよかった」と実感できる学校

目指す学校経営を実現するために、

学校におけるCS (Customer Satisfaction) 推進を考えた学校経営

を行っていきます。「CS」は、「顧客満足」です。つまり、「お客様が満足すること」です。

学校で、「お客様」は少ししっかりこないです。原中学校における教育は、公教育であり、広い意味では、行政サービスの一部であるので、生徒・保護者・地域の方々はもとより、荒川区民、ひいては東京都民ということになります。顧客となる全ての皆様に御満足いただけるような教育活動を行って参ります。

CS向上のために、

- ① 生徒・保護者・区都民(顧客)の立場に立った教育活動、サービスの提供、企画・開発。
- ② 顧客とコミュニケーションを図り、 ⇒ ③ 課題を出し、解決策を検討。
- ④ 再度、期待以上の教育活動を提供していく。 ということを継続していきます。

**判断の
基準**

- 生徒にとって、教育効果はあるのか
- 生徒にとって、メリットはあるのか
- 「費用対効果」はあるか

創立30周年の節目の年、周年行事も実施します。今後とも、原中学校の教育活動に御理解・御協力のほど、よろしくお願いいたします。

4月行事予定

月	曜	行 事	時
8	月	1学期始業式	A3
9	火	入学式	A4
10	水	給食始 臨時時間割始 (荒教研)	A4
11	木	新入生歓迎会 部活動紹介	
12	金	区学力向上のための調査	
13	土		
14	日		
15	月	全校朝礼 安全指導 内科検診(2年)臨時時間割終	
16	火	各種委員会 個人写真撮影	B6
17	水	(幼保小中交流会)	A5
18	木	全国学力・学習状況調査(3年)中央委員会	
19	金	避難訓練 内科検診(1年)	
20	土	授業公開日 平和講話 保護者会	A2

月	曜	行 事	時程
21	日		
22	月	生徒会朝礼 腎臓検診(全) 内科検診(3年)	
23	火		
24	水	(職員会議)	B5
25	木		
26	金	身体計測 心臓検診(1年)	
27	土		
28	日		
29	月	昭和の日	
30	火		A5
5/1	水	生徒総会	
2	木		

◎ホームページに、学校だよりを掲載しています。ぜひご覧ください。